

2005年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日 2006年 1月 30日

I 概要

実践団体・担当者名	小松市民防災センター（担当者： 土田武志）									
連絡先	電話0761-20-2708									
プランタイトル	「防災紙芝居大会」									
目的	小松市内の中高生は、なかなか防災に関する学習をする機会が少なく、さらに防災に係る地域・ボランティア活動も行っていないのが現状である。そのような中高生に対し防災教育を積極的に実践していき、地域の防災力の向上を図っていききたいもの。									
プランの概略	<p>初めての試みではあるが、小松市内の中学生や高校生がグループ単位で防災について防災センターや消防署で学習し、その知識や技術を習得し、学習内容等から防災についての幼児向け紙芝居を中高生自らが作製し、小松市内の保育所や幼稚園でその紙芝居を発表するもの。</p> <table border="0"> <tr> <td>7月</td><td>防災学習会の実施</td></tr> <tr> <td>8月～10月</td><td>防災紙芝居の作製</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>防災紙芝居話し方学習の実施</td></tr> <tr> <td>12月</td><td>防災紙芝居の発表、表彰式及び意見交換会の開催</td></tr> </table>		7月	防災学習会の実施	8月～10月	防災紙芝居の作製	11月	防災紙芝居話し方学習の実施	12月	防災紙芝居の発表、表彰式及び意見交換会の開催
7月	防災学習会の実施									
8月～10月	防災紙芝居の作製									
11月	防災紙芝居話し方学習の実施									
12月	防災紙芝居の発表、表彰式及び意見交換会の開催									
プランの対象と 参加人数	小松市内の中学校及び高等学校の生徒 64名 （小松市内の保育所及び保育園の幼児 266名）									
実施日時	2005年7月25日 防災学習会 2005年11月21日～25日 防災紙芝居話し方学習 2005年12月19日～22日 防災紙芝居発表会 2005年12月26日 表彰式及び意見交換会									
主な実施場所	小松市民防災センター（石川県小松市園町） 参加生徒の中学校及び高等学校（石川県小松市内7校） 保育所（園）（石川県小松市内8所（園））									
連携した団体名、 連携の方法	連携団体の有無	無（今回は、連携する必要がなかったため）								
	連携した団体名									
	連携したきっかけ・理由									
	連携団体へのアプローチ方法									
	連携団体との打合せ回数									
	連携団体との役割分担									

Ⅱ プラン立案過程

プラン立案 メンバーの 人数・役割	団体内のスタッフ総人数	11名（専任2名、兼任9名）
	外部スタッフの総人数	0名
	主なメンバーの 役職・役割	責任者 木崎 英紀（小松市民防災センター 館長） 総括 蓮井 基（小松市民防災センター 総括担当） 企画 石田 万里（小松市民防災センター 担当） 山本 忍（小松市民防災センター 担当） 渉外 土田 武志（小松市民防災センター 担当）
プラン立案に要し た日数・時間	立案期間	2004年12月～2005年1月
	立案時間	およそ 10時間
	上記のうち打合せ回数	2時間 × 2回（全体打合せ）
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生及び高校生の参加度を高められるようにしたい。 ○ 幼児に本来の紙芝居のスタイルで地震や火事の怖さ等を伝えさせたい。 ○ 紙芝居の内容は、地震に限定せず、防災全般を対象としたい。 ○ 参加（活動）する生徒の移動に支障をきたさないようにしたい。 	
プラン立案で 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災紙芝居発表先の保育所及び幼稚園の選定をどうしたらよいか。 ○ 防災紙芝居発表までのスケジュールをどのようにしたらよいか。 ○ 中高生への募集をどのように行ったらよいか。 	

Ⅲ実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	10名（専任2名、兼任8名）
	外部スタッフの総人数	0名
	主なメンバーの 役職・役割	責任者 木崎 英紀（小松市民防災センター 館長） 総括 蓮井 基（小松市民防災センター 総括担当） 企画 石田 万里（小松市民防災センター 担当） 多保田 磨利子（小松市民防災センター 担当） 渉外 土田 武志（小松市民防災センター 担当）
準備に要した日 数・時間	準備期間	2005年4月～12月
	準備総時間	およそ 100時間
	上記の内打合せ回数	2時間×6回
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係者・ 機関名	①小松市教育委員会 ②小松市内中学・高校
	どのように働きかけたか	①教育長及び学校教育課に直接説明し、防災紙芝居大会の実施協力を求めた。 ②各学校長に直接説明し、生徒の参加協力を求めた。
	結果	①教育長から校長会席上にて協力を求めた。 ②学校長から担当先生及び生徒に参加を呼びかけた。
地域への 働きかけ	働きかけた地域の人・ 機関名	必要としなかった。
	どのように働きかけたか	
	結果	
保護者・PTAへ の働きかけ	働きかけた保護者・ PTA組織名	必要としなかった。
	どのように働きかけたか	
	結果	

機材・教材の準備方法	用意した機材・教材	○機材 3Dシアター、消火訓練装置、煙体験装置、起震車 ○教材 防災学習資料、防災紙芝居、防災ビデオ
	入手先・入手方法	○機材 3Dシアター、消火訓練装置、煙体験装置は市民防災センター、起震車は石川県から借用 ○教材 市民防災センター
	機材・教材選定の理由(なぜこの機材・教材を選んだのか)	○生徒に防災の知識及び技術を習得させるため
参加者の募集	募集方法	直接学校に出向き、学校長及び担当先生を通じ、募った。
	募集期間	2005年6月下旬 ～7月中旬
	参加予想人数	40名
	実際の参加人数	64名
	募集方法の成功点	○ 直接各学校に出向き、学校長及び担当先生に生徒の参加をお願いしたこと。
	募集方法の失敗点	○3月中か4月上旬に参加募集すれば、より多くの学校から参加が見込めたかもしれない。
準備で苦労した点・工夫した点		○ 参加する生徒との連絡に苦慮した。 ○ 生徒が作製した防災紙芝居の内容確認をどの時点で行うか。 ○ 12月の大雪で、防災紙芝居発表会、表彰式及び意見交換会がスケジュールどおりに開催できるように調整することに苦慮した。 ○ 助成いただく金額の範囲で実践しているので、消耗品等購入先との対応に苦慮した。

Ⅳ タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2004 11月			
12月	○ 12/28 チャレンジプラン募集案内周知		
2005 1月	○ 1/7 プラン打合せ ○ 1/12 プラン打合せ		
2月		○ 2/27 チャレンジプランワークショップ参加	
3月			
4月		○ 4/14 プラン詳細打合せ ○ 4/22 プラン詳細作成	
5月		○ 5/6 定期異動に伴うプラン所属説明 ○ 5/25 中高生への募集方法打合せ	
6月		○ 6/23 中高生への募集方法決定 ○ 6/28 中高生への募集開始	
7月		○ 7/8 説明会及び防災学習会打合せ ○ 7/25 防災紙芝居大会説明会開催 ○ 7/25 防災学習会実施	
8月		○ 8月～ 防災紙芝居作製	
9月		○ 9月 防災紙芝居作製	
10月		○ 10/15 チャレンジプラン中間報告 ○ 10月下旬 作製状況確認 ○ ～10/末 防災紙芝居作製	
11月		○ 11/2 防災紙芝居話し方学習打合せ ○ 11/10 防災紙芝居発表会、表彰式及び意見交換会打合せ ○ 11/14～11/18 防災紙芝居内容確認 ○ 11/16 発表先保育所（園）決定 ○ 11/21～11/25 防災紙芝居話し方学習実施	
12月		○ 12/8～12/9 発表先保育所（園）との打合せ ○ 12/14 防災紙芝居発表会報道資料配布 ○ 12/21 表彰式及び意見交換会報道資料配布 ○ 12/22 最終審査及び表彰グループ決定	○ 12/19～12/22 防災紙芝居発表会 ○ 12/26 表彰式及び意見交換会
2006 1月		○ 1/10 大会実施記念冊子作成打合せ ○ 1/27 大会実施記念冊子作成	

V実践の詳細 【C. 総合的な学習の時間】（継続的な学習を45分を1コマとして記入して下さい。）

タイトル	防災学習会	防災紙芝居の作製	防災紙芝居の話し方学習	防災紙芝居発表会	表彰式・意見交換会
実施日	7月25日	8月～10月	11月21日～25日	12月19日～22日	12月26日
所要時間	45分	45分	45分	45分	45分
達成目標	防災に関する知識及び技術を習得する。	防災学習等から防災テーマを決め、幼児に地震や火事の怖さ等を伝える紙芝居を作製する。	幼児に防災紙芝居の内容をうまく伝える話し方等をマスターする。	幼児に防災紙芝居を発表し、「地震」や「火事」の怖さ等を教え、防災の輪を広げる。	大会を通じ、優秀なグループを表彰し、大会の感想等を参加者から発表する。
生成物		防災紙芝居			
進め方 （箇条書き）	○防災紙芝居大会の説明を行う。 ○防災学習を行う。 ・机上学習 ・訓練 ・体験 ○紙芝居学習を行う。	○防災について学習する。 ○防災テーマを決める。 ○ストーリーを作る。 ○ストーリーを場面に分ける。 ○絵を作る。 ○ストーリーを書き込む。	○参加グループごとに紙芝居をサポーターの前で演ずる。 ○サポーターが話し方等を指導する。 ○繰り返し話し方等を学習する。	○発表前のあいさつをする。 ○防災紙芝居を発表する。 ○幼児の感想を聞く。	○優秀グループを表彰する。 ○優秀グループの紙芝居を観る。 ○参加者の大会を通じての感想を聞く。
ツール （特別に用意したもの）	○3Dシアター ○訓練体験装置 ○起震車			○紙芝居舞台	
場所	小松市民防災センター	学校	学校	保育所（園）	小松市民防災センター

VI 実践後

参加者への アンケート結果	別紙のとおり	
成果として 得たこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加全グループがスケジュールどおりに防災紙芝居を通じ、自分たちの防災について幼児に発表できたこと。 ○ 防災紙芝居（9作品）が防災センターに備わったこと。 ○ 一部の学校でクラス単位で防災学習、防災教室を実施したこと。（防災の輪が広がったこと。） ○ 次なるチャレンジプランを実践し、地域の防災力の向上に繋げることが期待できそうであること。 ○ 参加者の意識が防災に向けられたこと。 	
成果物	<p>（学習指導案、指導計画書、配布物、ワークシート、報告書、掲載記事等。 データがあればデータファイルを貼付して下さい。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災紙芝居 ○ 参加者名簿 ○ 参加者からのアンケート結果 ○ 発表先の保育所(園)一覧 	
広報方法	広報した先	<ul style="list-style-type: none"> ①報道機関 ②小松市教育委員会等 ③小松市ホームページ（市民防災センター） ④小松市内事業所（小松市防火協会加入の約470事業所）
	広報の方法	<ul style="list-style-type: none"> ①報道資料を各報道機関に配布した。 ②行事予定表の中で流した。 ③小松市民防災センターホームページに入れた。 ④小松市防火協会発行の「防火こまつ」に掲載依頼した。
	取材にきたマスコミ	<ul style="list-style-type: none"> ① 北陸放送 ② テレビ小松 ③ 北陸中日新聞 ④ 北國新聞
	広報された内容（掲載された記事・番組等）	<ul style="list-style-type: none"> ① 地元のニュース番組 ② 地元のニュース番組（別添ビデオテープ） ③ 別添新聞記事のとおり ④ 別添新聞記事のとおり
	成功点	<ul style="list-style-type: none"> ○ こまめに報道資料を送ったことで、地元報道機関が取材に来てくれたこと。
	失敗点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元紙以外の報道機関が取材に来なかったこと。（事件等で記者がこちらまで手が廻らなかったこともあるようだ。）
全体の感想と 反省・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めての取り組みではあったが、成功に終わったものと思われる。 ○ 今回参加した中学生及び高校生は防災に関心を示してくれたが、さらに防災の輪が広がる環境作りに努力していきたい。 	

今後の予定	来年度以降の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災紙芝居を地域の活動団体等で活用してもらうこととしている。 ○ 防災センターに来館する中高生には防災紙芝居の実践を説明し、幼児には防災紙芝居を演ずることとしている。 ○ 中高生を対象とした防災教育の新たな取り組みに着手したいと考えている。
	是非実施してみたい 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災を市内の学校での総合学習に取り入れることを関係機関に働きかけたい。 ○ 良い子の集い（市内の新小学1年生となる全子どもが対象）で防災紙芝居を演じたい。 ○ 小松市民防災センター主催による中高生を対象にペーパーテストによる防災なんでも博士（仮称）の資格を取得させるプランを検討し、実施してみたい。
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回のチャレンジプランに不採択となっても防災紙芝居大会を計画実施する予定であった。 ○ 消防関係刊行誌を発行している新聞社等にも防災紙芝居大会の記事掲載を依頼した。 ○ サポーター（講師）が地元に来てくれて良かった。 ○ 12月は予想もしない大雪となった。 ○ 防災紙芝居発表会には、学校長や先生が見学にきていた。 ○ 学校新聞に載せると、学校側から防災紙芝居発表会の記録を取りにきていた。 	

